

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する 面積の現況面積 (令和4年度末) (a)		
行方市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 3.5ha ⇒ 目標 3.5ha	350.7	350.7	【野菜】 次期作に向けて、大葉では、産地で戦略的に推進するEM活性液、ポカン肥料等の導入・利用を推進する。	対象作物である野菜の作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
土浦市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 247 a ⇒ 目標 260 a	247.0	247.0	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種や優良種苗を導入するとともに、安定生産のために土壌改良資材の導入・利用を推進する。	対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。
鉾田市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 10ha ⇒ 目標 10ha	1,081.0	1,081.0	【野菜】 次期作に向けて、農作業安全の取組をこれまで以上に充実・徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生産者が離農することせずに営農を継続することができるよう需要の拡大が見込まれる品目の栽培を推進する。	対象作物である野菜の作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
筑西市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 75.9 a ⇒ 目標 80.0 a	75.9	85.0	【花き】 次期作に向けて、市場で需要の高い産地で推奨する品種の栽培に取り組むことや品質の高位平準化のために産地で推奨する肥料や農薬の利用を推進する。	対象作物である花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
新ひたち野農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 160.3 a ⇒ 目標 165 a	160.3	165.0	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した品目・品種を導入するとともに、安定生産のために産地で推奨する肥料・農薬の導入と利用。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
神栖市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 383.7 a ⇒ 目標 383.7 a	383.7	383.7	【花き】 次期作に向けて、産地で推奨する品目（輪ギク：銘柄産地の認定済）の栽培を促進する。 また、生産の安定や品質向上を図るため、土壌分析を行い、研究と分析に取り組む。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
笠間市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 143 a ⇒ 目標 143a	143.0	143.0	【花き】 次期作に向けて、安定的かつ消費者ニーズに即した品種を導入するとともに、土壌分析等を実施し高品質な生産の継続を目指す。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
茨城県農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 248.8 a ⇒ 目標 250 a	248.8	248.8	【花き】 ・実需者のニーズに即した新たな品種の導入を推進する。 ・安定した生産体制のために優良品種の継続栽培を推進する。 ・良品生産のための肥培管理と効率的防除を可能にするための殺虫剤・殺菌剤等の活用を推進する。 ・安定生産、生育促進のため、液体肥料及びLED照明装置の利用を推進する。 ・資材等を見直すなどコストの削減に努め、次期作に向けて安定的な生産体制の強化を図る。 ・ハウス内ほ場にて加温装置、かん水装置を利用することで、生産性や品質の向上を図る。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた、機械化・効率化を図る。	対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。

鹿沼市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現状 203.4a ⇒ 目標 203.4a	203.4	203.4	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した品目又は品種の導入を実施するとともに、産地で推奨する肥料、農薬等の導入や利用を促進。	対象作物である花きの作付面積は計画時から維持されており、目標は達成された。
小山市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現状 38.6a ⇒ 目標 38.6a	38.6	38.6	【花き】 次期作に向けて、取引市場及び関係機関との協議のうえ、消費者ニーズに即した品種を選定し産地の推進する農薬を導入。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
栃木県農業協同組合中央会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現状 4,555.4a ⇒ 目標 4,739a	4,555.4	4,555.4	【花き】 新型コロナウイルスの影響が大きかった花きについては、産地の生産基盤の維持・強化のため、生産性向上・品質向上に要する資材の導入、及び土づくり・排水対策など安定した品質・収量に資する取り組みを実施。 【木の芽（さんしょう）】、【ハーブ類】 産地の生産基盤の維持・強化のため、ブランド化に向けた栽培暦等の営農指導に基づく生産性向上・品質向上に要する品種や資材を導入し、安定した品質・収量に資する取り組みを実施。	対象作物のうち、花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。
太田市農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 73.1a ⇒ 目標 73.1a	73.1	73.1	【花き】 群馬県の推奨品目を導入し安定生産のために自動換気設備装置の導入。	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
邑楽館林農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 71.5a ⇒ 目標 71.5a	71.5	71.5	【花き】 実需者ニーズに合わせた品種・品目の導入、安定供給をするためかん水設備を利用。	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
中之条町農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 245.2a ⇒ 目標 245.2a	245.2	245.2	【花き】 次期作に向けて、切り花では実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、産地梱包資材の推進、安定生産のために土壌改良資材等の施用、堆肥の投入を推進する。	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
前橋市農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現状 2.3ha ⇒ 目標 2.4ha	238.7	238.7	【花き】 次期作に向けて、産地で推奨する品種の導入・ミストファンの利用や土壌分析の推進等を実施する。	対象作物のうち、花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。

群馬県農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 149.1a ⇒ 目標 149.1a	149.1	159.2	<p>【はぐくみ地区・多野藤岡地区・甘楽富岡地区・東吾妻地区・桐生地区】</p> <p>【花き】 はぐくみ地区：次期作に向けて、カトレア（切り花）では実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、高温対策による夏期の安定出荷に取り組む。また、販売面では家庭や職場での需要拡大、芳香性をアピールポイントとした販路拡大を推進する。</p> <p>多野藤岡地区：次期作に向けて、シンビジューム（切り花）では実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、高温対策による夏期の安定出荷に取り組む。また、販売面では、詳細な出荷計画の策定による市場出荷の安定を図るとともに、産地PR及び生産者PRによる知名度向上と有利販売に取り組む。</p> <p>甘楽富岡地区：次期作に向けて、ストックではスプレー系品種の導入等、実需者ニーズに即した品種選定を行うとともに、土壌診断に基づく適正施肥管理の定着を図る。</p> <p>東吾妻地区：次期作に向けて、スプレーグクでは実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、安定生産のため露地栽培からの施設化や土壌診断に基づく適正施肥管理の定着を図る。また、すでに施設栽培に取り組む生産農家では、炭酸ガス施用やLED照明を活用した補光の導入による品質向上に取り組む。</p> <p>桐生地区：次期作に向けて、バラでは、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、複合環境制御装置の導入や環境制御技術の確立による生産性向上に取り組む。</p>	対象品目である花きの作付面積は増加しており、目標は達成された。
川越地域農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 247.7a ⇒ 目標 248.0a	247.7	267.7	<p>【花き】 産地等で推奨する品目の栽培や、灌水装置の利用など次期作に前向きに取り組む。</p> <p>【野菜】 次期作に向けて、土壌診断による適正施肥によるコスト削減や品質向上及び安定生産を推進する。また、作業環境の改善に資する取組として労働安全確認事項の実施を推進する。</p>	対象品目である野菜・花きの作付面積は計画時から増加しており、目標は達成された。
ふかや農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況以上になっていること 現況 64ha ⇒ 目標 64ha	6,382.0	6,901.0	<p>【野菜】 次期作へ向けにブロッコリーでは土壌改良材を導入することにより安定生産を図るとともに、共販野菜ブランドである「菜色美人」への取組として土壌診断結果に基づく肥料等の生産資材の共同購入を進めた。</p> <p>【花き】 ユリ・切り花については、次期作に向けて実需者の意向に即した市場ニーズの高い品種や、品質の均一化を図るための土壌改良資材の導入を進めた。</p>	対象品目である野菜・花きの作付面積は計画時から増加しており、目標は達成された。
埼玉ひびきの農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 5,742a ⇒ 目標 5,742a	5,742.0	5,742.0	<p>【野菜】 次期作に向け、野菜については生産性向上や土づくりのため、産地で戦略的に導入している資材の使用・施用を図る。</p> <p>【花き】 花きについては産地や部会で導入している資材の使用・施用を図るとともに、産地で戦略的に推奨する種苗の導入を実施する。</p>	対象品目である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
埼玉中央農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 81.2a ⇒ 目標 81.2a	81.2	81.2	<p>【花き】 実需者のニーズに即するため産地で推奨する品目（バラ・ストック・キンギョソウ）を導入するとともに、市場が求める品質等の情報に対応するため産地で推奨する肥料を使用し品質向上に取り組む。</p>	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
埼玉岡部農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 1,430a ⇒ 目標 1,430a	1,430.0	1,430.0	<p>【野菜】 次期作に向けて産地では、品質向上の為に、産地で戦略的に推進する農薬による防除、土壌改良剤の導入、利用を推進した。</p>	対象品目である野菜の作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。

ほくさい農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 121.3a ⇒ 目標 121.3a	121.3	129.4	【野菜】 生産性向上を図るため、産地で推奨する品種及び肥料・農薬等の導入を推進 【花き】 生産性・品質向上を図るため、産地で推奨する品種・肥料・農薬等の導入を推進	対象品目である野菜・花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
埼玉みずほ農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 131.0a ⇒ 目標 131.0a	131.0	131.0	【花き】 新型コロナウイルスによるイベント自粛により消費が減退し、市場販売価格が下落したため、次期作に向けて消費者ニーズに即した品種を導入するとともに品質向上資材等の導入し生産安定を図った。	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
公益社団法人千葉県園芸協会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現状 22,986a ⇒ 目標 22,987a	22,986.0	22,990.0	【野菜・果樹】 次期作に向けて、産地等で推奨する品目・品種の栽培や肥料等の利用を進め、需要に応じた高品質で安全なものを生産する。 また、安全講習会の受講等により、作業環境の改善に資する。 【花き】 次期作に向けて、産地等で推奨する品目・品種の栽培や、かん水装置・加温装置の利用等を進め、生産性又は品質向上に要する資材等の導入を図る。	対象作物である野菜・花き・果樹の作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
秦野市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況77.9a ⇒ 目標77.9a	77.9	77.9	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、通い容器の利用による集出荷経費の削減等に取り組む。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
かながわ西湘農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 142.8a ⇒ 目標 142.8a	142.8	142.8	【花き】 次期作にむけて消費者や実需者ニーズに即した品目・品種の栽培を行い、安定生産や品質維持のため、効率的な肥料・農薬の導入や土壌診断を実施する。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
さがみ農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 110.4a ⇒ 目標 110.4a	110.4	110.4	【花き】 次期作に向けて、需要に応じた品目・品種等の導入、生産性の向上と共に、高品質化を一層進めるために栽培技術の向上、肥料・農薬の改善、設備等の整備を行い、高品質な農産物の供給に取り組む。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
山梨県水田畑作農業再生協議会	令和3年度	生産体制の強化や需要に応じた取り組みの進展を図ることにより、対象品目(切り花:バラ)の作付面積を維持する 現況 132a ⇒ 目標 132a	132.0	132.0	【花き】 花きについて、実需者ニーズに即した品目・品種を積極的に栽培し、産地で推奨する肥料・農薬・資材の利用により、高品質な花きを生産する。また、土壌分析・土壌改良資材の施用を推進し、土壌改良による花きの安定生産に努める。	対象品目である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
松本ハイランド農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 16.1a ⇒ 目標 18.1a	16.1	18.1	【花き】 実需者ニーズに即した品種試験および新たな品種の導入および安定生産と品質維持のための栽培講習会・目揃会等を開催し、品質向上と生産量の確保を実施した。	対象作物である花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
南信州地域農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 137.7a ⇒ 目標 137.7a	137.7	137.7	【花き】 需要のある品目の導入及び安定した栽培に向けて加温・加温装置の利用に取り組む。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
飯島町農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 1.5ha ⇒ 目標 1.5ha	153.3	153.3	【花き】 次期作に向けて、需要者のニーズに即した地域推進品種を導入するとともに、必要資材の導入や品質向上に必要なかん水設備等の導入を推進した。この取り組みにより、産地の維持発展に努めた。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
南箕輪村農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 71.2a ⇒ 目標 71.2a	71.2	71.2	【花き】 次期作に向けて、アルストロメリア、カーネーションでは需要者ニーズに即した品種の導入を進めるとともに、かん水装置、加温装置、自動カーテン装置、堆肥の投入などを活用した安定生産に向けた取り組みを行う。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。

安曇野市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 17.8ha ⇒ 目標 18.5ha	1,780.0	1,782.3	【野菜（わさび）】 産地の特産品として機械導入による作業効率の向上、施設改修によって品質の向上、肥料の利用、かん水装置の利用等に取り組む。 【花き（ストック）】 産地等で推奨する品種の栽培と肥料の利用、かん水装置の利用に取り組む。	対象作物である野菜（わさび）において、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導
伊那市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 400a ⇒ 目標 500a	438.3	438.3	【花き】 需要が見込める時期に出荷できるように間引き管理を行った。次期作に向けて、アルストロメリア等の生産では、実需者ニーズに合わせた新たな品種を導入するとともに、秋口の早期出荷に向けた株養生陽性と夜温確保のために加温装置を早めに設定を推進した。	対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。
佐久浅間農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 46.7a ⇒ 目標 46.7a	46.7	46.7	【花き】 次期作アルストロメリアについて、品種、灌水設備、加温設備の更新を行い、販売価格の底上げと経費削減、省力化、安定生産に取り組む	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
駒ヶ根市 地域農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 135a ⇒ 目標 135a	135.0	135.0	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、安定生産のために加温措置等を導入し生育を促すことを推進する。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
茅野市地域農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること 現況 158a ⇒ 目標 170a	158.0	167.0	【花き】 コスト低減と安定生産を図るため、産地等で推奨する肥料、農薬等の導入（共同購入）を行うとともに、出荷作業の効率化を図るため、産地等で推奨する梱包資材（段ボール等）の利用を推進した。	対象作物である花きにおいて、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。
静岡県温室農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況30ha ⇒ 目標31ha	3,014.0	3,014.0	【野菜】 生産性又は品質向上に要する資材等の導入に資する品種の導入を行う。と、ともに、蒸気消毒機による土壌の消毒の実施、もしくは天地返しを行い土壌を活性化させ高品質なメロン栽培に取り組む。	対象作物である野菜（メロン）において、計画時の現況面積以上の成果目標設定としたが未達成のため指導。
浜松市 担い手育成総合支援協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること 現況 108.9a ⇒ 目標 108.9a	108.9	108.9	【花き・野菜】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、生産性と品質向上を図るため産地で推奨する肥料や農薬の導入・利用を推進する。作柄安定に資するため土壌改良資材の施用を行うとともに、作業環境の改善を図るため安全講習会等の受講を推進する。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
大井川農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 424.1a ⇒ 目標 424.1a	424.1	424.1	【花き】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、品質向上のため当地域で一部生産者が導入して効果が認められた新しい肥料・農薬・資材を導入する。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
清水農協花卉運営委員会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 359.4a ⇒ 目標 360.0a	359.4	367.6	【花き】 次期作に向けて、生産性・品質・単価向上を目的とした種苗の導入に取り組んだ。また、産地で戦略的に推進する機能性肥料（バソキア）を導入・利用した。光合成を高める効果があり、品質・生産性の向上に繋がった。	対象作物である花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
遠州中央農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 5.1ha ⇒ 目標 5.1ha	518.6	518.6	【野菜】 次期作に向けてミズナ・エンサイ・ハーブ・海老芋・温室メロンでは、省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、新たに産地で推奨する肥料、農薬、資材の導入および推進を行う。 【花き】 花き（トルコギキョウ）の省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、新たに産地で推奨する肥料、農薬、資材の導入および推進を行う。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
掛川市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 241.9a ⇒ 目標 241.9a	241.9	241.9	【花き】 市場などのニーズに即した品種を栽培、販売していくことにより、安定経営を目指す。	対象作物である花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
御前崎市農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 114a ⇒ 目標 114a	114.6	114.6	【花き・野菜】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、産地で戦略的に推進する肥料、農薬及び土づくり・作柄安定に資する土壌改良資材の導入・利用を推進する。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。

牧之原市 農業総合支援協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 128 a ⇒ 目標 128 a	128.3	128.3	【花き・野菜】 次期作に向けて、実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、安定生産・省力化に向けた機械化を推進する。 次期作に向けて、産地で戦略的に推進する肥料、農薬及び土づくり・作柄安定に資する土壌改良資材の導入・利用を推進する。 市場が求める品質等の情報やそれに対応する出荷方針を関係者全員で共有し、生産者一体となって品質保持・向上に努める。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
静岡市 地域農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 1.80h a ⇒ 目標 1.80h a	180.0	180.0	【野菜】 次期作に向けて、優良品種の導入、産地で戦略的に推進する BT 剤など推進する。	対象作物である野菜の作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
静岡市農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 772 a ⇒ 目標 775 a	772.2	698.2	【野菜】 昨年同様、わさびの安定供給にむけ、J A推奨の苗及び肥料・農薬等の購入。 【花き】 昨年同様、花卉の安定供給にむけ、J A推奨の苗及び肥料・農薬等の購入。	対象作物のうち、野菜（わさび）において、台風によるわさび田の流出等取組実施者に不測の事態が発生したため、事業実施主体に責務を負わせられないことから指導しない。
富士伊豆農業協同組合 (旧伊豆の国 農業協同組合)	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 5.54h a ⇒ 目標 5.54h a	554.6	554.6	【花き・野菜】 次期作に向けて、実需者ニーズや静岡県の育成した奨励品種を導入するとともに、安定生産のために土壌消毒の実施、肥料や機器の導入などを実施。また、市場が求める品質等の情報やそれに対応する出荷対応を行う。 【野菜】 品質向上のため苗の導入と土壌改良材の投入、アオムシ対策として生物農薬（B T 剤）の使用、灌水設備の導入を行った。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
菊川市 担い手育成総合支援協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 8.8h a ⇒ 目標 8.8h a	881.0	881.0	【花き】 次期作に向けて、生産者部会等において、市場や仲卸とのマーケティング会議の実施等により実需者ニーズを把握し、需要に即した品種の導入を進める。合わせて、近年の天候不順、高温多湿環境等による生育不良の改善のため、産地で戦略的に推進する梱包資材、肥料、農薬、土壌改良剤等の導入や、安定生産のための生産者毎の新たな資材導入等の取組を進める。	対象作物である花きの作付面積は計画時より増加しており、目標は達成された。
とびあ浜松農業協同組合	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 21.17h a ⇒ 目標 21.17h a	2,117.0	2,117.0	【野菜】 次期作に向けて、産地で戦略的に推奨する品種の栽培を徹底するとともに、夏季の高温による被害防止のために高温期における品質維持に資する資材（すずみどり）の利用を推進する。 【花き】 次期作に向けて、産地で戦略的に推奨する品種の栽培を徹底するとともに、土壌診断に基づいた適正な施肥管理を推進し、作柄の安定化を図る。	対象作物である野菜・花きの作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。
富士伊豆農業協同組合 (旧伊豆太陽 農業協同組合)	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 9.38h a ⇒ 目標 9.38h a	938.1	876.6	【野菜】 次期作に向けて、わさびは産地戦略書に基づき推奨品種の栽培と土壌改良剤及び農業機械等の導入を図る。 【花き】 次期作に向けて、ニーズに即した推奨品種を導入するとともに、品質と生産性向上のために新農薬導入を推奨する。	対象作物のうち、野菜（わさび）において、台風被害により作付が可能なわさび沢が生じるといった取組実施者に不測の事態が発生したため、事業実施主体に責務を負わせられないことから指導しない。
静岡県農業再生協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上になること。 現況 149.6 a ⇒ 目標 149.6 a	149.6	149.6	【野菜】 地域で推奨する優良品種・系統の導入や土壌改良を実施し、品質・鮮度の高いわさびの出荷に取り組む。 【果樹】 労働安全講習会を開催し農作業安全の取組をこれまで以上に充実・徹底させるとともに、新たな肥料等の導入に取り組む。 【花き】 地域で推奨する優良品種や肥料・農薬等を導入し、ブランド力強化のため品質を高める。	対象作物である野菜・果樹・花き作付面積は計画時を維持しており、目標は達成された。